

高松南高校PTAだより

編集・発行 県立高松南高校PTA 第57号



ごあいさつ

PTA会長 川 西 裕 幸

寒さのなかにも、春の気配を感じる今日この頃、皆さま元気にお過ごしでしょうか。本校を旅立つ卒業生・修了生の皆様さまは旅立ちの春を迎え、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今年度は新型コロナウイルスの制限も緩和され、様々な学校行事が再開されました。PTA事業も4年ぶりに伝統事業であったPTAふるまい餅つきを9月9日の南高祭で40名の役員と先生方のご協力のおかげで盛大に開催することができました。開始時刻前から20m近く並んでいた光景を見てびっくりいたしました。そして、伝統行事に対する生徒と保護者皆さまの大きな期待を肌で感じながら夢中で餅をつき、餅をこねたことは、私にとって忘れられない思い出になりました。生徒の皆さんはこの1年間、勉強や部活動、文化祭や体育祭、修学旅行や収穫祭など、楽しい思い出もあれば、試験や進路に苦労したり、友人とケンカしたり辛い思い出もあるかもしれません。しかし、それらの経験は皆さんを成長させ自信を持たせてくれる大切な財産です。皆さんのいろいろな場面で輝く姿を見てきた私たち保護者は、心から感動し、感謝しています。1年間を通じて、PTA活動を支えてくださった学校や教職員の皆さまには、深く感謝をいたします。校長先生をはじめ先生方は、生徒たちに安全で快適な学校生活を提供するとともに、知識や技能だけでなく、さわやかなマナーと社会性、思いやりの心をもった大切な人間としての姿勢を教えてくださいました。また、PTAの運営や行事の準備などにも多大な労力と時間を割いてくださいました。先生方のご指導とご協力に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本年度はPTA会長として多くの方々と関わることができ、大変充実した1年間でした。PTA会長を務めさせていただいたことに心から感謝いたします。そして、新年度の高松南高校と教職員、生徒、保護者の皆さまの益々の発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。



ごあいさつ

校 長 吉 田 稔

保護者の皆さまには、令和5年度の1年間、本校の教育活動へのご協力に対し感謝いたします。また、本日の卒業式・修了式を無事終了できましたこと、卒業生・修了生を見守ってこられた皆さまには心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さまは「ウェルビーイング」という言葉をご存じですか。「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含むものである。」と説明されています。国の次期教育基本計画にも記載があり、教育をとおしてウェルビーイングを向上させようとしています。

この言葉の説明の中に「幸福」が使われています。生徒、子どもが幸福を感じるのは、「先生や家族は自分のいいところを認めてくれる」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」、「友人関係に満足している」、「安心・安全な環境であり、心身ともに健康である」などのときです。私たち教員は、授業、学校行事、部活動をとおして生徒の自己肯定感、達成感や充実感、協調性などの育成に励むとともに生徒が夢や目標の実現に向けて努力できるよう環境を整え教育活動を行っています。一方で皆さまは、各家庭で愛情とともに人生の先輩として助言し、時には叱りながら子どもと毎日を過ごしていることでしょうか。保護者として子どもとは、付かず離れずの関係を保ってほしいと思っています。皆さまの高校時代が今の時代と大きく異なるように、社会は激しく変化してきましたし、これからは変化し続けます。自分の考えを押し付けすぎず、子どもの考えを尊重することが大切です。このことが幸福へ導くことにもなります。

私にも3人の子どもがいて、3人とも社会人として働いています。3人がそれぞれの進路を自分で見つけ思うままに巣立っていきました。付かず離れずの関係が良かったのかもしれませんが。家族全員が揃うことは少なくなりましたが、集まった時は賑やかになります。そんなとき社会人となった子どもたちから、「お父さんは時々面倒くさかった」と言われています。3人それぞれへの想いがあってのことでしたが、親の考えは伝わりにくいものです。最後になりましたが、保護者の皆さまにおかれましては今後ともご支援・ご協力をお願いいたします、ごあいさつとさせていただきます。

南高祭 2023

文化祭でのPTA行事「お餅つき」

PTAの保護者の皆さま、今回の文化祭の行事で、餅つきに参加していただきありがとうございました。つくられたお餅は、南高生・保護者・地域の方々・多くの来場者に振舞われました。

縁起ものであるお餅を作る『餅つき』の道具、『臼』と『杵』は家族繁栄の象徴といわれています。日本には稲作信仰の考えがあり、稲は神聖なものだと考え、稲から取れる米は、生命力を強める神聖な食べ物として崇められてきました。そのため祝い事や特別な日に、餅つきをする文化が芽生えたといわれています。

餅つきは必ず打ち手と返し手が必要で、さらにはできたお餅をこねる人が必要です。一人ではできないため、連帯感を高め、喜びを分かち合う重要な行事として古来より執り行われてきました。

餅つき文化のように南高も、職員・保護者・地域の方々との連帯感をさらに高め、粘り強く繁栄を維持できるよう頑張ってまいります。

(南高祭担当 平井 淳雄)



第2学期クラスマッチ

令和5年度後期クラスマッチは、12月20日(水)、21日(木)に行われました。競技を見直し、女子はバスケットボール、男子はバレーボールを行い、熱戦を繰り広げました。どのクラスも大変な盛り上がりを見せました。各種目の優勝は以下の通りです。

ババ抜き優勝	3年6組、2年3組、1年6組
男子フットサル優勝	3年2組A、2年7組、1年2組A
女子バレーボール優勝	3年4組B、2年6組B、1年7組A
男子バレーボール優勝	3年2組A、2年2組A、1年2組A
女子バスケットボール優勝	3年7組A、2年3組A、1年6組A

(生徒会担当 山田 直人)



2年生 北海道修学旅行

1月23～26日

1日目は、東京観光、ディズニーランド、ディズニーシーに分かれてそれぞれ楽しみました。東京観光の浅草では雷門を見たり食べ歩きをしたり、原宿ではカフェで女子会をしたりしました。食べ歩きでは特にお団子がおしかったです。ディズニーでは、かわいいカチューシャを友達とおそろいで買え、嬉しかったです。パレードを見たり、キャラクターと写真を撮ったりしました。とてもかわいかったです。乗り物はスピード感があって後ろに進んだり、今まで乗った乗り物の中で一番楽しめました。清掃員の方がドナルドを地面に描いているのも楽しかったです。

2日目3日目は、スキー、スノーボード研修、札幌・小樽観光でした。私たちはスキーをしました。寒くて足が冷たくなりましたが、滑るのがとても楽しかったです。小樽ではいちごあめやかぼちゃコロケなどを食べました。雪がたくさん降っていて大変でした。札幌では買い物をしたり、札幌ラーメンや海鮮丼を食べたりしました。とてもおいしかったです。

4日目はウポポイ国立アイヌ民族博物館に行き、アイヌの文化や歴史を学びました。狩りに使う武器や舟、動物の皮などが展示してあり、見たことのない物が多かったです。プロジェクションマッピングの体験があり、手を当てるとアイヌ語で発音され、面白かったです。その後、新千歳空港で買い物をしたり、海鮮丼を食べたりしました。最後まで北海道を満喫でき、楽しい修学旅行でした。

(修学旅行委員 2-5 正坂 美奈・中野 紗綾)

1月23日(火)



(浅草寺散策)



(東京ディズニーランド)



(東京ディズニーシー)

1月25日(木)



(吹雪の中のスキー研修)



(スキー場での昼食)

1月24日(水)



(スキー研修スタート：晴天)



(小樽運河散策)



(ジンギスカン食べ放題)



(開校式)

1月26日(金)



(ウポポイ国立アイヌ民族博物館)



(旅行者で混雑する新千歳空港)

運動部

令和5年度後半主な成績

●弓道部

香川県高等学校弓道選手権大会 香川県大会
女子団体 準優勝

●剣道部

香川県高等学校新人大会 男子団体 第3位
女子団体 第3位

●相撲部

香川県高等学校新人大会 団体 優勝
個人の部 優勝

●バスケットボール部女子

全国高等学校バスケットボール選手権大会 香川予選 準優勝

●バレーボール部女子

後藤杯香川県高等学校バレーボール大会 3位

●ハンドボール部男子

香川県高等学校ハンドボール新人大会 3位

●ハンドボール部女子

香川県高等学校ハンドボール新人大会 準優勝

文化部

●合唱部

全日本合唱コンクール香川県大会高等学校部門 銅賞
香川県高等学校総合文化祭合唱部門「合唱の祭典」 奨励賞
(次年度全国大会へ推薦)

●書道部

高校生国際美術展(世界芸術文化振興協会主催) 奨励賞 3年 酒井 理帆
全国書道展(四国大学主催) 特選 3年 澁谷 優菜
準特選 3年 酒井 理帆
3年 大下紗希帆
2年 松高 美桜
2年 佐藤 里洋

国際高校生選抜書展

入選 3年 澁谷 優菜
青少年健全育成作品展 最優秀 2年 佐藤 里洋

●吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール香川県大会 銅賞
全日本マーチングコンテスト香川県大会 銀賞
全日本アンサンブルコンテスト県大会 (金管8重奏) 銅賞

●放送部

香川県高校放送コンテストラジオドラマ部門 2位
香川県高等学校総合文化祭 放送部門発表会ビデオ番組部門 3位

各種検定 (数字は合格者数)

全商各種検定1級

ビジネス文書実務 21
簿記実務 3
ビジネス計算実務 16
情報処理 3
商業経済 15

家庭科技術検定1級

被服製作 10
食物調理 9
保育検定 2
秘書技能検定2級 5
秘書技能検定準1級 1
測量士補 13
危険物乙種第1類 4
乙種第2類 2
乙種第4類 41

乙種第5類 1

乙種第6類 5

トレース技能検定3級 16
ガス溶接技能講習 10
アーク溶接作業特別教育 26
2級土木施工管理士 15
実用英語技能検定3級 4
準2級 18
2級 3
(令和6年2月現在)

進路について (進路指導部)

今年度はコロナウイルスの影響は以前に比べて少なく、進路ガイダンスにも参加することができ、オープンキャンパスも多くの学校で以前と同じように行うことができるようになりました。コロナウイルスの影響が少なくなってきましたが、インターネットを介したWeb情報にも頼る事もある程度ありました。

合格した人は、早い時期から情報を集めて、志望校を決め、過去問を解き、きめ細やかに対策をとっている人が多いです。また、受験教科を少なく絞ろうとする傾向があります。入試に使用しない教科をつくって、負担を軽くしようとするのです。苦手教科はそうした教科になりがちですが、苦手教科に前向きに取り組んだ人ほど実は合格に近い位置にいます。勉強は苦しいだけのものではありません。楽しい事も多いです。

就職状況

今年度の就職予定者は36名。昨年度は48名。本校だけでなく、県下の多くの高校も、就職希望者数が昨年度を下回りました。来年度は40~50人くらいになりそうです。就職で、まず1番に考えて欲しいことは「どんな仕事がしたいか」です。興味がなかった仕事でも、やってみると面白かった、ということも、もちろんあります。でも、生きていく中で、まずは、自分で考え、悩み、「決める」ことが大事だと思います。更に、会社を給料の高さで決めないで下さい。早い時期に会社を辞めるケースが多いです。会社を見て、働いている人を見て、「みんな真剣だ」「ここなら頑張れる」と思える会社を選択して欲しいです。公務員を希望する場合は、今日から問題集を買い、勉強を始めて下さい。専門学校生も同じ高卒枠で受験します。彼らは毎日朝から夜中まで公務員試験の勉強をしています。その人たちとの競争です。

学校評価(保護者アンケート調査)結果報告

本年度も学校評価の一貫として、3年生の保護者の皆様にアンケート調査をお願い致しました。①～⑥の質問項目について、「4. よく当てはまる」「3. やや当てはまる」「2. あまり当てはまらない」「1. 全く当てはまらない」の4段階で回答していただきました。下記はその結果を集計したものです。

<質問項目>

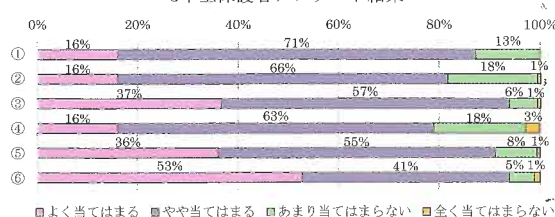
- ① 高松南高校は、自ら学び自ら考え、責任のある行動がとれる人間を育てている
- ② 高松南高校は、さわやかなマナーと思いやりの心をもった人間を育てている
- ③ 高松南高校は、各学科の特色を生かした学習活動を通して、将来社会に貢献しようとする態度を養いつつ、自己の進路希望の実現に向けた意欲と力を育てている
- ④ 高松南高校は、交通安全対策やいじめ防止、教育相談対応など、生徒が健康で安全に過ごせるようにしている
- ⑤ 高松南高校は、部活動や学校行事を盛んに行い、それぞれ成果を上げている
- ⑥ 子どもを3年間高松南高校に通わせて、良かったと思っている

質問項目④を除く全ての項目について、80%以上の保護者の方から「よく当てはまる」「やや当てはまる」という回答をいただき、良い評価をいただくことができました。自由記述では、「専門的な知識を身につける事ができてよかった」「自分がしたいことを見つけたことができ、それに向けて行動できた」「子どもの成長を感じることができた」「学業と部活動を両立することができた」といったようなご意見・ご感想が寄せられました。一方、本校教師の生徒との向き合い方や姿勢について改善を求めるといったご意見もいただきました。

また、学科別では、「普通科」は91%、「環境科学科」は88%、「生活デザイン科」は82%、「看護科」は92%、「福祉科」は86%の保護者の方から本校の取組(生徒の希望に沿った進路実現を目指した取組)に対して良い評価をいただきました。これからもご期待に応えられるよう、より一層努力して参りたいと思います。

本校の教育方針は「二十一世紀の担い手として、広く社会に貢献しようとする健全な徳性と優れた知性をもち、主体的に判断し行動する創造性豊かでたくましい人間の育成を目指し、五つの学科と専攻科を置く総合制高校の特色を活かした教育を推進する。」です。今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後とも全職員あげて教育活動に邁進して参りますので、これまで同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3年生保護者アンケート結果



第5回香川県高P連研修会(9月16日)に参加して

◇◇PTA会長 川西裕幸◇◇

テーマ「3.11(東日本大震災)を学びに変える」

令和5年9月16日、レクザムホールにおいて第5回香川県高P連主催の研修会が開催されました。講師は、元宮城県女川第一中学校の教諭で現在は一般社団法人Smart Supply Vision理事で特別講師として全国で防災の啓発活動・公演を行っている佐藤敏郎さんです。佐藤さんは12年前の東日本大震災で、当時大川小学校6年生だった次女を津波で亡くされました。震災後の2011年5月、様々な葛藤がある生徒たちの素直な想いを五七五に込める俳句づくりのプロジェクトを立ち上げました。また、震災当時小学生だった中高生が震災の語り部となり、都会の若者とディスカッションを行う活動「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開され、2016年に「16歳の語り部」を出版されました。「16歳の語り部」で私が強く印象に残った場面は、一番の親友を亡くした生徒が「新学期、その子の机が空いているのに誰もその話をしない。最初からいなかったかのよう。私も死んだほうがよかったのか」と考えたそうです。別の男子生徒は「目の前を流されていった人が手を伸ばしてきたが、小学5年生の彼は手を伸ばせなかった」今まで誰にも言えなかった話を中学3年生になって初めて語り始めました。あの震災で生き残った彼らの使命感と葛藤が存在する生々しくもみずみずしい語りで強い衝撃を受けました。佐藤さんは「真の防災とは語り続けて忘れないこと。そうすると間違いなく人は備えて逃げる。あの日は辛いことばかりで、簡単に語り合ったり向かい合ったりできないかもしれないが、若者達と一緒に活動していること必ず未来の話、希望の話になる。あの日に向かい、必ず未来を見つける。そして学校や社会がやるべきことが見えてくる。あの大切な日に向かい合ったその先に、未来や希望を見つけれたらいいと思う」と言われました。そして、マンネリになっている防災訓練に対しては「訓練や避難マニュアルには、いつか本番がある。何十回も避難訓練を行ってきたが、過去一回も失敗したことがなかった。訓練や練習は、本当は本番のために失敗を繰り返すはず。避難訓練の本番には命がかかっている。完璧な訓練、完璧なマニュアルはないし出来ないと思うが、本気になることはできる」と強く言われました。佐藤さんが、震災後に一番変わったことは「命」の見え方だそうです。言い換えれば生

徒が命に見えるそうです。「生徒は命なんだと思うようになった。それまでは生徒だと思っていた。漢字の苦手な生徒。給食を大量に食べる生徒など。震災後、避難所から着の身着のままで、子供たちは毎日学校に来ていました。子供たちがここにいないということは、朝起きてご飯を食べさせて着せて「行ってらっしゃい」と言う人がいる。そして「ただいま」を待っている。生んで育ててくれた存在があったからこそここにいない。だから子供たちは頭のてっぺんから足のつま先まで「命」。命がランドセルを背負って来て、命が教科書を開いている」そう思えるようになったそうです。本気の防災意識とは、命をどう見るかだと、改めて強く教えて頂きました。

大学・専門学校訪問研修会(10月20・21日)に参加して

◇◇副会長 碓石 知代◇◇

香川県高等学校PTA連合会主催により県下の高等学校から保護者・教職員がバス2台で大阪方面へ出発しました。初日、1校目は、2022年に「大阪市立大学」と「大阪府立大学」が統合した大阪公立大学杉本キャンパスを訪問しました。日本最大の規模で5つのキャンパス・12学部あり、就職に強い公立大学総合ランキングで1位にランクインしています。2025年秋には、森ノ宮キャンパスが開設予定です。2校目は、2025年に創立100周年を迎える、企業とのコラボ商品の研究と開発が盛んな近畿大学です。特に気になったのが、24時間利用可能な自習室です。女性専用の部屋やカフェも充実しているので、1日の大半を大学で過ごす学生が多いという事です。1日目夜は、親睦会があり、他校の保護者と意見交換ができました。その後ホテルに戻る途中、タイガースファンで盛り上がった街でたこ焼きを買い楽しみました。

2日目は、辻調理師専門学校へ行きました。1階から6階まで見上げられる吹き抜けで、ホテルのような豪華な建物でした。各実習室は店舗を再現した教室になっており、現場での対応力が備わっているようです。就職後のアフターサポートも充実しています。最後に、大阪工業大学の大学祭で昼食をとり、最先端の設備が整った梅田のタワーキャンパスを見学しました。帰りはグランフロントで買い物しました。

参加により、将来の選択肢が広がる話を子供にすることができました。参加させていただきありがとうございました。



第2回PTA理事会

今年度2度目のPTA理事会が、1月30日(火)に、本部役員・クラス理事14名の出席のもと、開催されました。令和5年度PTA事業及び会計の中間報告等が承認されました。また、現況報告では、学校評価の概要、進路指導部、人権・同和教育部、生活指導部、教育相談部、保健指導部の5つの分掌からの報告、また、三年学年主任からは、本年度の卒業記念品の説明がありました。

《編集後記》日頃よりPTA活動にご協力頂きありがとうございます。高松南高校PTAだより第57号が完成しました。南高生の学校行事での活動や部活動での活躍を記事にしてあります。本号では、久しぶりに通常開催された文化祭、4年ぶりに復活したPTA餅つきや2学期末のクラスマッチ、2年生の北海道修学旅行の記事などを掲載しています。ぜひお読みください。また、生徒が参加した行事がある毎にホームページが更新されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

■南高校ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/minamh02/>